

6月

矢作川 モニター報告

区間 左岸4.6KM～ 11.4KM

概況

梅雨時にかかわらず、週1回程度の雨で、ダムが減水がニュースなることが多かった。ダムに貯められたか、いつもより水量が少なかった。

6月6日 三河山間部、平野で30分くらいかなり強い夕立があった。翌日変化を見ようとモニターに出かけた

1、23号線下流

水深30センチ、いつもより5センチ少ない。透明度25センチやや笹濁り。小魚が餌が流れてくるのか、盛んに水面に出て、食餌活動をしていた。初めて見る光景でした。

2、緑地公園

2か所でソフトボールの練習試合40人、テニス4人、サッカー2人ほか散歩など5人の人出があった。

6月22日 3日前に1日中雨であり、かなりの増水を期待してモニターに出かけた。水深25センチ、透明度35センチと、今までで最も水量が少なく、流れもゆったりとしていた。

1、23号線下流

多数の小魚が擁壁の藻をついばんでいた、よく見ると川中の石の周りにも同じ光景が見られた。アユでないと思う。

2、粘土底の水たまり(米津橋下流150メートル)

本流に50センチの鯉3匹が悠然と泳いでいるのを初めて目にした。ほかに小魚多数いた。

水溜りには本流からの水が流れてこず、小魚が数匹いただけであった。

全区間堤防の雑草は1メートル以上に伸び、中洲も緑緑していた。

8.6kmで河川敷の草刈りが始まっていた。

1年間のモニター活動を振り返って

* 初回のモニター時には23号線下流がゴミ置き場ようになって、ゴミも散乱していたが、2か月できれいになった。以降目立つようなことはなくなった。

* 平日の昼間は意外と人出が少なく、多くの人と話し合えなかった。散歩や釣りをしている人と6人ほど世間話をして終わってしまった。

* 小魚が多くみられ、オイカワ、カダヤシ、タモロコ、手長エビ、アユを現認でき、よかった。

* 鳥は時間や潮の状態により数、種類、居場所が変わる。コンスタントに見れたのはシラサギ、鼠色のサギでした。カモ池のカモが居なくなったのは

残念でした。秋になったら戻ってくるかな。

* 緑地公園の前の葦原、水質改善浄化のために造成したと説明を受けた。本流まで出てみようかと一度挑戦したが、葦の背が高く、先が見通せないことや、ぬかるみ、水たまりがあって苦労した。

人の多く集まる場所なので、けもの道の整備をしてはどうか。また造成目的の看板が小さく、且つはげているので作り変えてほしい。



* 河川工事も時間を追って観察でき、環境保全のための知識が身についた。たとえば川中の土砂をさらえる工事は、大型車両が通行できる仮設道の造成、川中の樹木の伐採、導水堤策定など準備工事があり、終了後はどこを工事したか解らないほどに復元されていた。河川管理者は治水、利水、のために環境に配慮しながら仕事をされておられることが理解でき、ごくろうさんといいたい。

今回のモニターで得た経験を生かし、他の河川も観察したい。ありがとうございました。